



すべての人への駅の やさしさ

関西大学北陽中学校 1年

さ の ひ な か
佐野 日菜花

私はこの春、中学生になり電車通学になった。毎日乗るようになって知らなかった事が沢山ある事に気が付いた。もっと調べてみたいと思い、いつも利用しているコスモスクエア駅について調査をすることにした。

改札の前に触知案内図があった。視覚障がい者の方が「見る」のではなく「触って」理解出来るように作られているものだ。音声案内も組み合わせた案内図になっていて凸凹していた。トイレとホームにもあった(写真1・2)。触知案内図は、言葉だけでは伝わりにくい情報を視覚障がい者の方にもそうでない私達にも伝える事が出来る便利なものだと感じた。

改札は幅の広いものが2か所あった。これは、バリアフリー改札口と呼ばれるもので90センチ以上の幅があり、ベビーカーや車いす、スーツケースなどを持った人がスムーズに通る事が出来る。実際に利用した際、スーツケースと並んで入る事が出来、とても快適だと感じた。さらに顔認証改札口が1か所あり、こちらも幅は90センチ以上あった。事前に登録した顔画像と通過時のカメラ画像を照合する事によりウォークスルーで改札を通ることが出来る(写真3～5)。今年3月から始まり、外国人からの様々な要望に応え、より便利な移動を実現する為、万博開催に向けたキャッシュレス、チケットレス改札の取り組みの一環として導入されたものだ。利用している人を見て、切符を入れなくてよい為

非常に便利だと感じた。顔認証技術は今後、技術の向上と共に安全で便利なものへ進んで欲しいと思う。

トイレの入口には遠くからでもよくわかるように大きなピクトサインが記されていた。一目でわかり、探す手間が省け素晴らしいと感じた。男女ともバリアフリートイレがあり、オストメイト、車いすなど様々な人が利用しやすいように工夫されていた。洗面台の1つは子どもが使用しやすい高さになっていた。さらに荷物用のフックや棚、大きな姿見もあった(写真6～8)。

電光掲示板や案内板、券売機は大きくてわかりやすく、点字、日本語、英語、中国語、韓国語で表示されていた。路線と駅をアルファベットと数字と色で表していて、言葉がわからない方にもとてもわかりやすいと感じた(写真9～13)。側には、車いすの方や耳の不自由な方への係員の呼び出しボタンもあった(写真14・15)。困った時にすぐに助けを求める事が出来、安心だと感じた。

障がいのある方だけでなく、女性も男性も、子どもも高齢者も外国人も、全ての人に快適で便利な駅になるように様々な工夫が施されていた。私達が手助けをする事でさらに駅が利用しやすくなるのではないかと感じた。一人ひとりが意識していく事で「やさしさ」がもっと増えていくと思う。みんなで支えるやさしい社会になって欲しい。

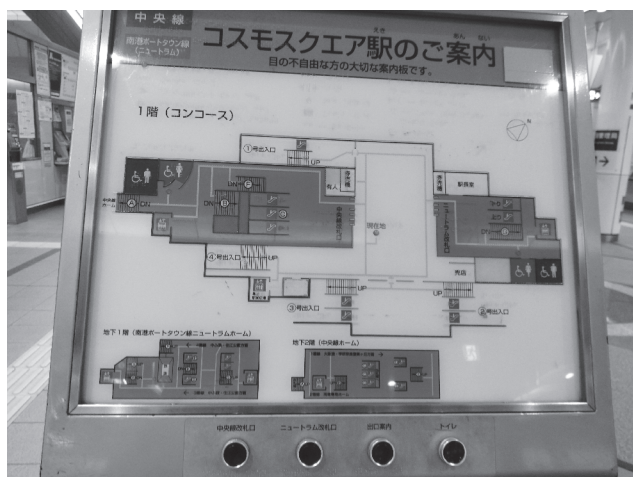


写真1

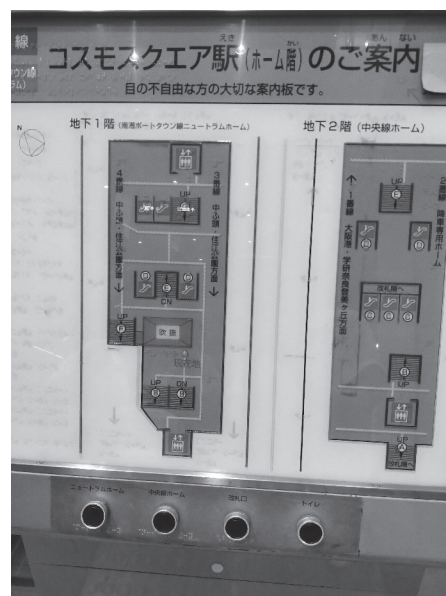


写真2



写真3



写真4



写真5



写真 6



写真 7



写真 8



写真 9



写真 10

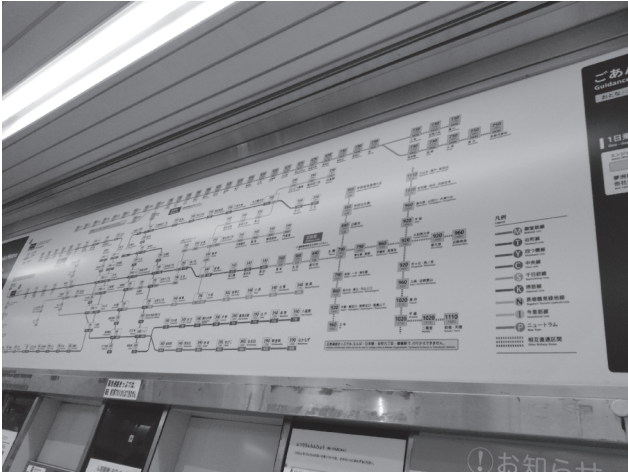


写真 11

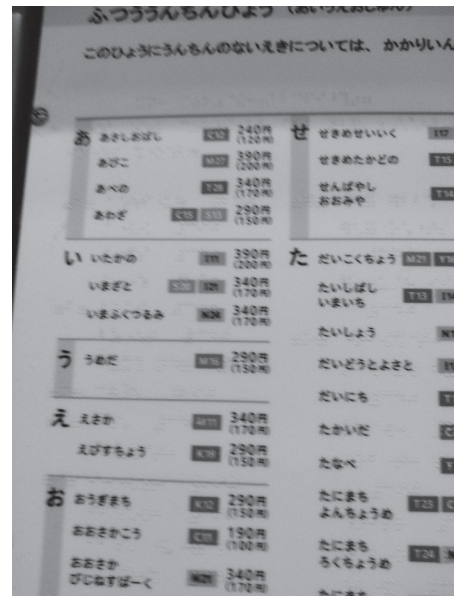


写真 12



写真 13



写真 14



写真 15